頸椎椎弓形成術パス

入院オリエンテーションをします

・麻酔科医師が

説明に伺います

説明

病棟 病室 氏名:

患者さんに	は、治療計画に基づいた医療	を行います。				
	月 日()	月 日()	月 日()~月 日()	月 日()~月 日()	月 日()	月 日()~月 日()
	入院日(手術前日)	手術当日	術後1~2日目	術後3~6日目	術後7日目	術後8~16日目:退院
目標	・手術に向けて準備ができる	・術後合併症がなく経過する: 呼・ ・痛み止めで痛みのコントロールがて ・安静が守られる	・ 及状態、頭痛、しびれ、体温、創部状態 きる	・感染症状がない・痛みのコントロールができる・装具の着脱練習、離床ができる	・感染症状がない・装具の着脱ができ、歩行 訓練ができる	・感染症状がない・装具の着脱ができ、安定した 歩行ができる
治療処置	・身長、体重測定・患者識別バンドを装着します・検温(毎日)	・血栓予防の為に、弾性ストッキング を履きます	・傷の状態や痛み、その他の症状が ないか観察を行います ・酸素投与を行います。呼吸状態が 安定したら終了します	・創部の状態を診察します	・創部の診察をします	【術後14日目】 ・創部の診察、抜糸をします
検査			・心電図モニターを装着します ・血栓予防の為に、足に機械を付けます ・傷口近くの管は、状態をみて術後 2~3日目に抜きます ・術後1日目:採血、レントゲン	・術後4日目まで酸素モニターを付け、呼吸の状態を観察します	・採血、レントゲン、CT	
点滴		・手術前に点滴を開始します	・手術後も点滴を継続して行います	・術後3日目まで、抗生剤の 点滴があります。終了したら点滴 の針を抜きます		
内服薬	・持参薬を確認します・中止薬が予定通りに中止されているが確認します		・痛みが強いときは、痛み止めを使います		・抗凝固薬を服用している方は、 医師の指示後に再開してください	, <u></u>
食事	・夕食以降、飲食禁止となります	・手術前の飲食については、麻酔科 医師より説明があります	・手術 4 時間後くらいから、水分を飲むことが出来ます。 むせこみがないか看護師が確認をしながら、少しずつ摂取します ・術後1日目から食事が始まります			
排泄		・手術前にトイレを 済ませてください	・医師の許可後、尿の管を抜きます。トイレに行けるようになるまでは、 ベッド上で排泄をします。看護師が準備やお手伝いをします		・トイレに行けます	
清潔	・手術前日:シャワー浴	手術前にコンタクトレンズ、入れ歯、 めがね、指輪、時計、ネックレス、 ヘアピンなどは外してください	・洗面台へ移動できるまでは、うがい、歯磨き 準備し、ベッド上で行います ・シャワー浴の許可が出るまでは、看護師が体	を拭くお手伝いをします		・術後14日目に抜糸後、 医師の許可で シャワー浴ができます
安静度リハビリ	特に制限はありません	・手術後は、ベッド上安静です ・寝返りは出来ますが、体の向きは、 看護師が支えて一緒に行います ・20度までベッドがあげられます	・安静度やベッドアップ、注意事項について再 ・コルセットを装着した状態で、ベッドアップをす 【リハビリ】 ・術後1~2日目:コルセットを装着し、徐々 ・術後3~4日日:コルセットを装着し、康格	ることができます にベッドアップをして起き上がる練習を行		・首のカラーを装着し、リハビリが 拡大してきたら、ベッドアップも 安静度も自由です





・主治医から、手術後の経過について説明があります

・呼吸が苦しい、傷の痛み、しびれなどの症状がありましたら、 ナースコールでお知らせください

・術後3~4日目:コルセットを装着し、車椅子乗車をします。その後、徐々に歩行に向けてリハビリを開始します





・退院後の注意事項などの 説明します

・次回の外来予約を 日を確認してください

